

●卒業まで Count Down 4! ●

鳳中学校 SCRAM 2024年度

2025 (R7) 3, 3 No, 13



中学校生活の三年間というのは、人生の中で最も大きなターニングポイントと言えるかもしれません。授業での学び、部活動、友達や先生からの言葉、人生を左右する進路選択など、様々な経験を通して「心」が飛躍的に変化を遂げたはずです。

これが皆さんの今後の人生を築く「土台」となり、新しい世界で出会う人たちと新たな経験を重ねながら更なる「学び」を繰り返していくのです。

このように人は生涯に渡って学習や経験を重ねながら「個」が変化し続けていきます。つまり、人間としての完成形はありません。ゆえに、「主体的に学び続ける姿勢」をいつまでも大切にする必要があります。

いつか、どこかで出会ったときに、皆さんどのように変化しているか、楽しみにしています。

一期一会とは

人は出会った瞬間から別れへのカウントダウンが始まります。進級、卒業、引っ越し、ケンカ別れ、死別など様々な理由やタイミングがありますが、このように多くの別れと出会いを生涯繰り返します。

これから新たな世界に旅立つ皆さんにはそこで新たな出会いがありますが、裏を返せばいつかはその人と離れる日がやってくるということです。別れゆくその瞬間に後悔することがないよう、出会った人には常に全力で向き合うべきです。これこそが「一期一会」です。

今皆さんの目の前にいる友達は、もしかするともう一生会うことがないかもしれません。卒業での別れを前にやり残したことはありませんか？友達に全力で向き合ってきましたか？「ありがとうございます」「ごめんね」の言葉を言い忘れていませんか？

学びに終わりなし

■誇り高く自信を持って翔び立つとき■

今回が、最後の学年通信です。3年生に向けての「メッセージ」として読んでいただければ幸いです。

中学校三年間の生活、そして義務教育九年間の課程が、いよいよ終わりを迎えます。

鳳中学校での三年間で、皆さんは、どんなことを学んできましたか？



学業に力を注いだ人、部活動に情熱を傾けた人、友達との関係を楽しんだ人…、わずか三年という時間の中で抱えきれないぐらい多くのことを学んできたことでしょう。



中学校生活の三年間というのは、人生の中で最も大きなターニングポイントと言えるかもしれません。授業での学び、部活動、友達や先生からの言葉、人生を左右する進路選択など、様々な経験を通して「心」が飛躍的に変化を遂げたはずです。

これが皆さんの今後の人生を築く「土台」となり、新しい世界で出会う人たちと新たな経験を重ねながら更なる「学び」を繰り返していくのです。

このように人は生涯に渡って学習や経験を重ねながら「個」が変化し続けていきます。つまり、人間としての完成形はありません。ゆえに、「主体的に学び続ける姿勢」をいつまでも大切にする必要があります。

いつか、どこかで出会ったときに、皆さんどのように変化しているか、楽しみにしています。

一機転



続きは卒業式で

いよいよ卒業式。みなさんはどのような思いで卒業式を迎えるですか。また、お家の人はどのような思いで卒業式に出席されると思いますか。みなさんは鳳中学校で三年間生活をしてきました。楽しかった思い出、辛かった思い出、感動した思い出、頑張った思い出など、さまざまな出来事に思いを巡らすことだと思います。しかし、それ以上に十五年間お家の人に大切に育てもらったことや、家族があり今の自分があることを決して忘れてはいけません。

赤ちゃんのとき、何度も夜中に起きてミルクを飲ませてもらったことやおむつを替えてもらったこと、病気のとき看病してもらったこと、真剣に叱ってもらったこと、悩んでいるとき一番の味方になってもらったこと、みなさんは愛され育てられて今の自分があるのです。

卒業式を迎えるみなさんにできることは「感謝の気持ちを伝えること」そして「立派に成長した姿を見せてもらうこと」です。卒業証書を授与されると、担任の先生から一人ひとりの名前が読み上げられます。この時、みなさんは「はい」と返事をしますが、この短い二文字の言葉に、「大きな意味」を込めてください。「はい」という返事で起立し、着席するまでの数分間、お家の人は、あなたのこれまでの十五年間に思いを巡らせることでしょう。十五年前みなさんのが生まれたときに願いを込めてつけられた名前を、全員の前で呼ばれることは、お家のにとって嬉しい誇らしいことです。お家の人の気持ちに応えるように「自分はここまで成長しました。ありがとうございます。」という気持ちをもって、しっかりと返事をしましょう。そして、会場内を歩くとき、胸を張って堂々とした姿を見せましょう。それが、みなさんからお家の人の「贈る言葉」です。あなたの晴れ姿を心から楽しみにしています。卒業おめでとう！

保護者の皆様へ 入学からはや三年が経とうとしています。鳳中学校の教育にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございました。本校教職員がお子様を支援していくにあたり、将来幸せな人生をおくつもらつたための土台として、「良いことは良い・悪いことは悪い」と伝えてきたつもりです。また、「独り立ちできるように・他と協力して生きていけるように」教えてきたつもりです。保護者の皆様の思いに対して至らぬ点も多々あったかと思いますが、温かく見守っていたとき感謝の念に堪えません。いよいよ卒業式を迎えます。お子様の立派に成長した晴れ姿をしっかりと目に焼き付けていただければと思います。めいっぱい祝福してあげてください。三年間、本当にありがとうございました。

一年生。ぶかぶかの制服は、私たちの代から新しいデザインに変わったこともあります。誇らしくも照れくさくもありました。制服同様に、全てが初めて新鮮な毎日。行事などで先輩方が見せてくださった姿に、憧れを抱きました。そして、それこそ自分が自分たちがすべき目標だと強く感じました。

二年生。後輩たちの「先輩」と呼ぶ声に、中学生としての「自覚」を新たにしました。先輩方が見せてくださった姿に、憧れを抱きました。そして、それこそ自分が自分たちがすべき目標だと強く感じました。

そして、三年生。「中学校生活最後」という言葉が、私たちに感じさせてくれたもの。それは、最高学年としての責任感。二度とは訪れないこの瞬間を大切にしたいという情熱。あつという間に流れていく時間の中、私たちは自分たちの成長を確かに感じることができました。

さわやかな春風が躍動するこの校舎で、私たちの「中学校生活」という物語が始まつたあの日。あれから三年の月日が経ち、あの時と同じさわやかな春風が私たちの心を吹き抜ける中、私たちは大きな節目を迎えます。これまでの日々を思い起こせば、すべての瞬間が鮮やかな色彩をもつて蘇ります。

答辭